

女性の産む力を引き出す助産ケアの探索
：開業助産師が関わる計画的自宅分娩の助産録回顧調査

○ 研究の意義・目的

今回、れいこ助産院で自宅分娩をなさった方の助産録から妊娠・分娩・産後の経過の実態を明らかにすることで、適切な助産ケアがなされたのかを検討するため、この研究を計画しました。

○ 研究対象者

1999年12月～2016年7月までに、れいこ助産院で自宅分娩をされた方の助産録が対象です。

○ 研究方法

本研究は、全て助産録（カルテ）情報を転記して行います。

ただし、個人が特定出来る情報は転記せず、広島大学に情報を集め解析します。

カルテから転記する内容は妊娠・分娩・産褥期における次の項目です。

お母様の情報：出産回数、自宅出産の動機、身長、体重、腹囲、血圧、浮腫、尿たんぱく、尿糖、浮腫、子宮底長、Hb値、陣痛開始日時、破水日時、分娩日時、分娩所要時間、会陰裂傷と縫合、出血量、分娩体位、立会った家族、臍帯と胎盤、排泄、体温、脈拍、乳房、清潔ケア、薬、代替療法、分娩費用
赤ちゃんの情報：アプガースコア、体重、身長、頭位、胸囲、体温、皮膚、黄疸、排泄、清潔ケア、授乳、薬、代替療法

○ 研究期間 倫理委員会承認後～2017年3月31日

○ 個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。

情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせください。

* 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後のケアに不利益が生ずることはありません。

.....
お問い合わせ先

〒734-0004 広島市南区宇品神田5丁目26-9-1307

T e l : 080-1927-6602

れいこ助産院 院長 前原英子（共同研究者）

〒734-8553 広島市南区霞1丁目2-3

T e l : 082-257-5352

広島大学大学院医歯薬保健学研究院 梯 正之（研究責任者）

村上真理（担当者）